

帯広市(北海道):あいのりタクシー

町内会・老人会等の要望を聴き運行に生かすデマンドタクシー

人口	170,580 人	モード	乗合 タクシー
面積	618.94 km ²	法令	道路運送法 第4条
人口 密度	275.60 人/km ²	運営 主体	帯広市



■ 取組の背景

地域と交通の状況

- ・ 帯広市の大正地区は大規模酪農地が広がる散居型の集落形態である。そのため、近くのバス停まで2~3km離れており、お年寄りや子どもなどが路線バスを利用できる環境になく、路線バスの利用者が極めて少ない状況となっていた。

【生活交通の確保】【公共交通の利用者減少】

活用メニュー(制度・協議会等)

- ・ 平成14年、帯広市は北海道運輸局から農村部における新たな生活交通システム調査業務の指定を受け、平成15年度に乗合タクシー実証実験を行った。

【公共交通活性化総合プログラム】

■ 実現したサービス

サービス内容

【デマンド型交通】

- ・ 全域デマンド運行の「あいのりタクシー」という名称で大正地区は平成16年4月から本格運行に着手した。
- ・ 1日7便の出発時間のみが設定されており、利用希望者は事前登録が必要であるため、出発時間の30分前までに予約する。
- ・ 大正市街を起終点として、定められた運行ルートは設けずに利用者の要望に応じてエリア内を運行するシステムで、帯広市街とは既存路線バスで接続していた。
- ・ 当初の運賃設定は500円均一としたが、平成18年10月からは利用者の強い要請を受けて、市街地までの乗り入れを実施するとともに、均一運賃から距離に応じた運賃体系(ゾーン制)を採用した。
- ・ 使用車両は原則としてジャンボタクシーとした。
- ・ 利用者ニーズに的確に応えるために、町内会・老人クラブ・農協・病院等の地域住民が参加する運営協議会を設置した。
- ・ 予約業務及び運行は、地元タクシー事業者である大正交通に委託した。

技術

【運行管理システム】

- ・ 市がフレックスバスの実証実験で作成したパソコンによる運行管理システム(社団法人北海道開発技術センターが市専用に開発)をタクシー会社に貸与した。

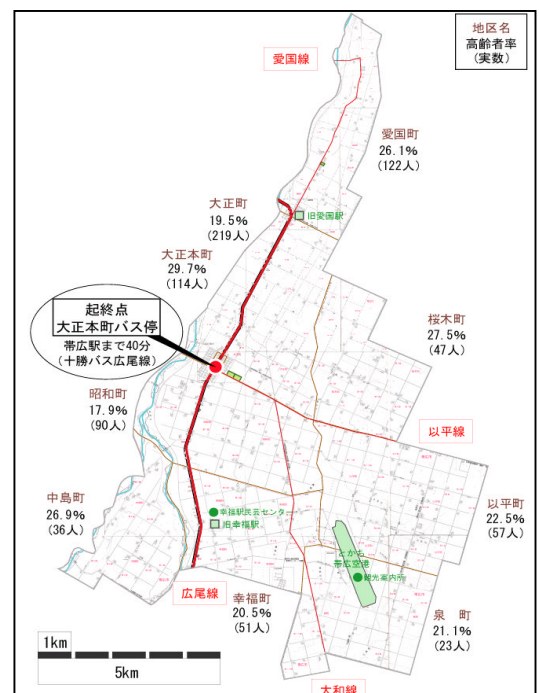


図. 大正地区のバス路線

出典: 帯広市資料

■ 効果と負担

効果

【利用者数の増加】

- 平成 18 年度の登録者数は 454 人(対平成 16 年度比 46%増)、利用者数は 4,047 人(対平成 16 年度比 61%増)となっている。

負担

【市町村負担】

- 利用者の増加の一方で、市から事業者に対する委託料(運行経費の助成)については、平成 18 年度で 7,413 千円(対平成 16 年度比 16%増)となっており、燃料代高騰と市街地乗入れ等の経費増加をいかに圧縮するかが課題となっている。

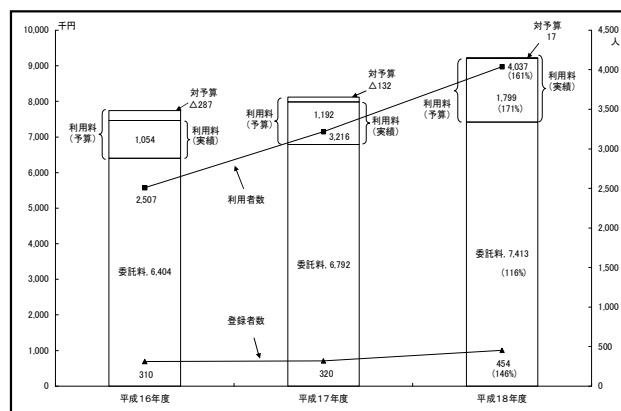


図. バス利用者の推移

出典：帯広市資料

■ プロセスと調整

計画策定と運営協議会の設置

【プロセス:体制構築】

- 平成 13 年度から新しい生活交通システムについて検討が始まり、市が設置した「帯広市バス活性化基本計画」が策定され、農村部における生活交通支援の必要性が示された。
- 平成 14 年度には地域住民が参加する運営協議会が設置され、運行方法を検討した。アンケート調査やグループインタビューでニーズを把握し、実証実験の方法を固めた。

運行開始後のフォローアップ

【プロセス:フォローアップ】

- 市職員が毎年 1 回、町内会や老人会でグループインタビューを実施し、要望を聴いている。当初は利用者からの市街地への乗り継ぎの悪さなどに対して苦情が多く出たが、ゾーン運賃制に変更した運行によって急減していった。

事業者との調整

【調整:対事業者】

- 既存事業者との調整に苦慮したが、関係者が粘り強く調整した。
- 委託先のタクシー会社は地域で唯一の事業者なので、市街地タクシー会社との住み分けができています。

■ 創意工夫・知見・教訓

グループインタビューの実施

【知見:住民意見の取り入れ】

- 農村部である大正地区は散居型の集落形態であり、高齢者等の生活交通支援が必要であったが、回答者が特定できないアンケート調査ではなく、実際に利用する高齢者の方の意見を聴くグループインタビューが有効であった。運行開始よりグループインタビューを継続している。

唯一最大の課題は費用負担

【教訓:市町村負担の増加】

- 利用者が増えることは望ましいが、それに従って市が事業者に支払う委託料が増えるという状況にある。そこで、バス停における除雪等を地域ボランティアで支える、企業・病院等から協賛金を募ることを検討しているが、運賃改定が避けられない状況にある。

■ 連絡先、参考 URL 等

連絡先：帯広市商工観光部商業まちづくり課 電話 0155-65-4165

参考 URL：大正交通あいのりタクシー <http://www.taishokotsu.co.jp/ainori/ainori.html>

■ 資料編

**みんなで
利用しようね。
事前の予約を忘れないでネ**



あいのりタクシー 始まる!!

大正地区で

平成15年7月～10月の4ヶ月間
毎週月曜日～土曜日【日曜・祭日はお休みです】

7月【モニター実験期間】→**無料運行**
8～10月→有料運行／お一人1回500円
高校生以下300円
就学前のお子様は無料

【利用予約】大正交通 TEL.64-5012

【お問合せ】帯広市商工観光部商業課 帯広市西5条南7丁目-1
TEL.0155-24-4111 (内線2311～2313)
FAX.0155-23-0172

◎タクシーの出発30分前までに予約をしてください。
(6:45発の予約は前日までにお願いします)

◎大正地区内であれば
行きたい場所へどこへでも送迎します。



帯広からのバス到着時間<大正本町>	タクシーの 出発時間 (大正本町/ス摩)	タクシーの 到着時間 (大正本町/ス摩)	帯広に向かうバス発車時間<大正本町>
	6:45	7:45	7:54 8:04 (高校スクール便) 8:39
6:49 7:09	8:00	9:00	9:08 9:39
7:58 8:09	9:00	10:00	10:19 11:24 11:59 12:59 13:19
9:39 10:59 12:09 12:29	12:30	13:30	14:19 15:14
13:09 14:09	14:30	15:30	16:19
15:19 15:39 15:59	16:30	17:30	17:39 18:39
16:39 17:29 18:29 18:59	19:00	20:00	20:29


図. 実証実験時の乗合タクシー利用者周知用チラシ

出典：帯広市資料

■ 資料編

あいのりタクシーのご利用方法

1 予約をします



幸福町の岡田です。9時発のタクシーで大正本町のバス停に行きたいのですが

利用者


※予約は、電話で出来ます。
 ※タクシーの出発時間30分前までに予約下さい。
 ※どこからでも予約できます。(登録されずと登録番号だけで予約できます)

予約電話番号 **64-5012**

事前登録のご協力を

- 事前登録を行っていない方は、最初の予約申込時に、乗車希望便、乗車場所、降車場所のほか、住所、氏名、年齢、連絡先など必要事項をおうかがいし利用者登録を行います。
- 利用者登録をいただいた方には最初の乗車時に登録番号シールと登録カードをお渡します。
- 利用者登録を行うことで2回目以降の予約に際しては、登録番号と氏名だけで予約ができます。

2 オペレーターが受け付けます。



登録番号12番の岡田さんですね。承りました。(あらかじめ登録しておくともスムーズです) 9:15頃ご自宅まで待っていてください。

※タクシーが到着する時間を教えてくれます。
 ※乗りたい場所まで迎えに行きます。

3 タクシーの迎え時間を確認します。



9:15頃ですね。わかりました。

※予約の数によって、時間を後で連絡することもあります。



※相乗りをするので遠回りをするかもしれません。

事前登録のご協力をお願いします。→TEL.64-5012 FAX. 64-5030

事前登録用紙

申込日 平成15年	月	日	住所 帯広市
氏名	電話	-	(FAX) -
性別 (男 女)	主にどこに行くため利用しますか?		
生年 大正・昭和・平成	年		

図. 実証実験時の乗合タクシー利用者周知用チラシ(裏)

出典: 帯広市資料